



1月31日 基幹統計調査表彰伝達式を開催

1月31日(月)、基幹統計調査表彰伝達式を行いました。
【総務大臣表彰】 堀合成子さん
 昭和55年から令和2年の40年間、統計調査員及び指導員として、国勢調査を始めとする統計調査に尽力され、その功績が評価されました。
【岩手県知事表彰】 岩間みな子さん、平野榮紀さん
 統計調査員として30年以上尽力され、その功績が評価されました。
【岩手県統計協会会長感謝状】 内金崎ひろみさん、菊池久さん、北田和紀さん
 北田奈穂美さん、佐々木恵子さん、佐々木亮さん、関谷博子さん
 松原省子さん、松村とく子さん、三浦文雄さん
 統計調査員として10年以上尽力され、その功績が評価されました。



(後列左から)三浦文雄さん、関谷博子さん、佐々木亮さん、北田和紀さん(前列左から)平野町長、岩間みな子さん、堀合成子さん、平野榮紀さん、田口満大槌町統計調査員協議会長

2月22日 大槌町体育奨励賞・文化奨励賞表彰

スポーツでのめざましい活躍、芸術文化の発展への貢献を称える大槌町体育奨励賞・文化奨励賞の表彰式が2月22日(火)に行われました。中止となっていた令和2年度の表彰式も併せて行われました。スポ少でソフトテニスに取り組む澤館彩乃さん、臼澤蒼さん、岡本舞さんらは「スポ少はみんな仲が良く楽しい。大槌を代表する気持ちで、全国でも通用するように練習をがんばりたい。出場できる一つ一つの大会を大事に戦っていきたい」と抱負を語っていました。



	(氏名)	(大会・コンクール等名称)	(部門)	(成績)	
令和2年度大槌町体育奨励賞	【個人】 小・中学生	澤館彩乃 岡本舞	第20回岩手県小学生学年別ソフトテニス大会 兼 第20回全日本小学生ソフトテニス大会県予選大会及び第20回東北小学生学年別ソフトテニス大会県予選大会	女子4年生以下	第3位
		上野大雅	令和2年度彩の国杯第15回全国中学生選抜大会岩手県予選	中学1年生男子個人組手	優勝
		小松倫子	令和2年度彩の国杯第15回全国中学生選抜大会岩手県予選	中学1年生女子個人組手	第2位
	【個人】 高校生	倉澤威琉	令和2年度彩の国杯第15回全国中学生選抜大会岩手県予選	中学2年生男子個人組手	優勝
		岩間武蔵	令和2年度岩手県高等学校新人大会空手道競技	男子個人組手-76kg	第2位
【団体】 小・中学生	越田凜姫	令和2年度岩手県高等学校定時制通信制秋季卓球大会	個人戦	第3位	
令和2年度大槌町文化奨励賞	大槌高等学校復興研究会	令和2年度 1.17 防災未来賞ぼうさい甲子園	高校生部門	奨励賞	
令和3年度大槌町体育奨励賞	【個人】 小・中学生	澤館彩乃 臼澤蒼	第31回岩手県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会	女子5年生の部	第3位
		上野大雅	第16回全国中学生空手道岩手県代表選手選考会	中学2年生男子個人組手	第4代表
		小松倫子	第16回全国中学生空手道岩手県代表選手選考会	中学2年生女子個人組手	第1代表
	【個人】 高校生	倉澤威琉	第3回東北中学生空手道選抜大会	中学3年生男子個人組手	第3位
		岩間武蔵	第35回東北高等学校空手道選抜大会	高校2年生男子個人組手	第3位
		阿部雄一	第73回岩手県高等学校総合体育大会	陸上競技男子2部100m	第2位
	【個人】 一般	越田凜姫	第73回岩手県高等学校総合体育大会	卓球競技2部女子シングルス	第3位
		綱取佐穂子	第73回岩手県民体育大会	空手道競技成年女子組手	第2位
	【団体】 小・中学生	巨尾歩暖 三浦幸姫 (東北バレーボールスポーツ少年団)	第41回全日本バレーボール小学生大会 岩手県大会	女子の部	優勝
		東谷綺愛来	第21回全国中学生「防火防災に関する」作文コンクール	中学生の部	佳作

町のために自分たちができることをしたい

「町のために自分たちができることをしたい」大槌学園9年生、8年生で構成される生徒会役員の皆さんの申し出が、取り組みの始まりでした。大槌高校で動画制作や「伝える」ことについて興味を持つメンバーが参加し、CM制作を開始。昨年6月から10月まで、月1回以上のペースで会議を繰り返し、企画、撮影、編集と、



アイディアを形にしていきました。鮭の役を演じた大槌高校の遠藤大地さんは「町のことを自分が伝えようと思ったことが今までなかった。今回CMを作って、知らなかった事を調べたり、魅力を探したり、大槌のことを知る大事な機会になった」と話します。企画会議では、特産品や郷土芸能、大槌まつりなど、たくさん伝えたいものが挙げられ、15秒間で何を伝えるか、生徒たちは頭を悩ませました。

大槌学園の上野蓮華さんは「大槌は海のイメージがあるけれど山もあるし最近鹿、ジビエも有名になっている。ふるさと科で実際に見て学んだので、ぜひPRしたかった。これからもっと加工品や工芸品、自然に触れてみたいと思った」と鹿役に立候補した思いを語りました。ピーマン役の倉本愛花さんは「ふるさと科で調べる、考えるというところをやってきて、今回は伝えるとい



うことをみんなで考えることができたら。企画や撮影など、みんなの得意なことや新しい一面を知ることが出来て良かったし、大槌のためになったら嬉しい」と話しました。また、受賞はもちろんのこと、撮影の時に町の人たちに「頑張ってる」と声をかけられたことや、学校の枠をこえて協力できたことに、生徒たちは喜びを感じていました。今回のCM制作では、子どもたちが自分たちができることやアイディアを持ち寄って、大槌への郷土愛あふれる素晴らしい作品が出来上がりました。「町の、地域のために何かしたい」。生徒たちの言葉は、まちづくりの確かな土台ができていることを私たちに感じさせてくれます。

地元愛を持って新たな魅力を次の世代に見つけてほしい



(株) MOMIJI 兼澤 幸男さん
 ふるさと科の講師として、山の事やジビエ加工、ハンターなどについて授業を行っている。

ふるさとCMを見て、生徒の皆さんがジビエを題材に取り上げてくれたことをとても嬉しく思いました。広い視野を持って、自分の町で作っているものを自信を持って紹介してくれたことがとてもすごいことだと思います。ふるさと科の授業に携わっている立場として、地元のことを体験しながらよく知ってもらいたいとも思っています。自分は町を離れていた時に、大槌が豊かな土地だったんだと改めて実感しました。これから町の外の事も知っていくと思いますが、その上で一度大槌の良さを語ってくれたら嬉しい。そして今の子どもたちが大人になった時、またさらに新たな魅力を見つけてほしいと思います。